

NEXT CARE REPORT

DATA

石川ヘルスケアグループ
株式会社友愛

●愛媛県四国中央市上分町 716- 1

TEL 0896-57-2332

URL yuai-care.jp/



右から鎌田潔さん、森川利佳さん、吉田英生さん

働き手不足や 高齢者の困り事解消に 質の高い人材を育て 地域に送り出す

愛媛県四国中央市で急性期医療から在宅医療、介護・福祉サービスまで幅広くカバーする石川ヘルスケアグループを母体にもつ株式会社友愛。人材派遣・紹介業をはじめ、保険外サービスや外国人材向け事業など、新規事業に着手する理由を聞いた。

Next Point 01

人材紹介・派遣事業をスタートした目的は、地域の介護人材不足を解消するため。グループ内にとどまらない案件を扱う

Next Point 02

生活背景や本人のできることを踏まえたサービス提供の実績を重ねて、中長期的に介護人材の裾野を広げることが目標

子育て世代や元気高齢者の掘り起こしを狙う

株式会社友愛は、愛媛県四国中央市で病院や介護施設を運営する石川ヘルスケアグループが、「人材派遣・紹介業」や「保険外サービス」を展開する

企業だ。「背景には、地域全体の介護人材不足をどうにかしたいという思いがあります」と、代表取締役社長

の鎌田潔さんは説明する。

愛媛県は全国平均よりも高齢化の進行が約10年早く、後期高齢者人口が2030年にはピークを迎える

とされている。ICT活用や外国人技能実習生の受け入れ、処遇改善などにはどの事業所も取り組んでいるが、新型コロナウイルスの影響で技能実習生の入国待ちが続いていることもあり、人手不足が加速。生産年齢人口が減少するこ

◀ロゴは、幅広い要求に手を差し伸べて対応する「救う手」と幸福のベクトルをもつ「青い鳥」をイメージ



とも見込まれており、四国中央市の介護施設病床の約6割をもつ法人として、看過できない問題になっていることから、新規事業立ち上げに動いたという。

そこで、2022年3月から同社では人材派遣業ならびに求人登録人材の募集をスタートさせた。

愛媛県内にいる生産年齢人口は限られているが、子育て中の女性や元気高齢者をターゲットにYouTubeのバンパー広告やSNSなどによる情報発信を始めたところ、少しずつ問い合わせが増えていくという。

「ブランクがある有資格者や、介護未経験だが興味があるという元気高齢者などから問い合わせをいただいています。興味をもってくださった方とは、まず面談でじっくりとお話をします。長い目でみて地域の人材の裾野を広げていきたいと思っています

▶戸建てに住む高齢者からは、「庭の草むしりをしてもらいたい」などの要望も多く寄せられる



ので、不安のある方には施設見学や業務体験などをセッティングし、不安を軽減してもらえようになっています」と人材開発部の森川利佳さんは話す。また、資格保有者の場合でも、事前に同社の派遣・紹介スタッフとして接遇や医療・介護・福祉の基本知識、派遣・紹介先での仕事内容などの研修を受けてから、就業してもらおうかたちになっている。

サービス提供に至る生活背景にも目を向ける

こうした人材の受け皿となる求人は、2カ月余りで36件を獲得し



▲一緒に洗濯乾燥機の操作確認をしたり、掃除をしたりなど、ともにかかわる姿勢を大切にしている

た。看護師や管理栄養士など有資格者だけではなく、看護補助や介護現場での身体介護以外の業務など無資格でも応募できる求人を探している。

人材紹介・派遣事業が動き始めると、地域のケアマネジャーや訪問介護スタッフから「保険外サービスに対応してもらえないか」という問い合わせが入り始めたこと、人材開発部長の吉田英生さんは言う。

「『ゴミ出し』や『病院の付き添い』などを、現在、当社の保険外サービスで引き受けています。ゴミ出しといっても、依頼者の生活背景

やご要望は千差万別です。まずはなぜゴミ出しを頼みたいのかを、紹介者と依頼者にヒアリングすることから始めました」

ヒアリングをしたところ、ケアマネジャーとの面談により、配達サービスと契約し、定期的に食事がとれるようになったのだが、弁当の空箱が溜まるようになったことが原因というケースが発覚。起床時間が遅いため、ゴミ収集のタイムリંગに間に合わず、異臭やゴミ量の増加に困っていることがわかった。

「ゴミ収集日のゴミ出しは当社スタッフが担当するものの、それまでのゴミの置き場や捨て方を一緒に考えるなど、ご自身でできることは何かを整理していきました」(吉田さん)

病院の付き添いも同様だ。詳しく話を聞いていくと、自宅から病院までのタクシーは一人で乗ることができるとわかった。ただし、病院に到着してからの受付や診察室までの移動が不安材料だ

という。アテンドを友愛スタッフが担当することとし、ADL低下につながりやすい車いすは使わず、その方のペースで移動ができるよう付き添うことになった。

「ゴミを捨てる、病院に付き添うという作業を請け負うのではなく、生活背景や本人やご家族の要望を踏まえたうえで、高齢者本人が『生きる』ことを支える提案をするのがプロの介護人材です。早期の人材不足解消は必要ですが、登録人材数だけが増えればいいというわけではありません。こうした質の高いサービスを提供できる人材を少しずつでも確実に増やしていくことが、中長期的な介護人材不足解消につながると考えています」(鎌田さん)

サービスの質を維持しながら、登録人材と求人のマッチング実績を積んでいくことが当面の目標だ。今後は、技能実習生など外国人材のキャリアアップにつながる日本語教室や、子育て世代向けの学童保育など、登録人材が安心して仕事ができるような周辺サポート事業の展開も視野に入れている。